

今夏の電力需給見通しについて

2019年4月26日
北陸電力株式会社

本日、経済産業省の電力・ガス基本政策小委員会において、今夏の電力需給に係る見通し・対策が審議されました。

北陸エリアの今夏の電力需給見通しは以下のとおりです。本見通しは、電力広域的運営推進機関がとりまとめた電力需給検証報告書においても公表されています。

【北陸エリアの今夏の最大需要断面(15時)の電力需給見通し】

猛暑（2010年度並みの気温）の場合

（送電端、単位：万kW、%）

	7月	8月	9月
供給力	596	569	533
最大電力	529	529	482
供給予備力	67	40	51
供給予備率	12.6	7.6	10.5

（注1）調整力及び需給バランス評価等に関する委員会「電力需給検証報告書」より抜粋。

（注2）供給力は火力増出力運転を考慮。最大電力はいずれも一日最大で想定している。

なお、同小委員会において、連系線を活用した電力融通が行われることにより全国の各エリアで供給力を確保できる見通しが示され、北陸エリアにおいては今冬に引き続き、国として節電要請を実施しない方針が示されました。一方で、大規模な電源脱落等の想定外の事態に備えることも示されました。

当社といたしましても、志賀原子力発電所が停止している中、今後の気温影響や大型電源のトラブルなどの不確定要素を考慮すると、厳しい需給状況となるため、電気設備の保守点検を確実に実施する等、引き続き電力の安定供給に努めてまいります。

引き続き電気の効率的なご使用にご協力をお願い申し上げます。

以上

【参考】今夏の全国の予備率最小断面(17時)における北陸エリアの電力需給見通し
猛暑(2010年度並みの気温)の場合 (送電端、単位:万kW、%)

	7月	8月	9月
供給力	527	522	505
最大電力	503	503	464
供給予備力	23	18	42
供給予備率	4.6	3.6	9.0

- (注1) 調整力及び需給バランス評価等に関する委員会「電力需給検証報告書」より抜粋。
(注2) 供給力は火力増出力運転、計画外停止、連系線の活用(全国の各9エリアの予備率を均平化するよう供給力をエリア間で移動)を考慮。
(注3) 最大電力は全国で予備率が最小となる17時断面における北陸エリアの見通し。
(注4) 四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。